奈良時代

名前

問1　奈良時代に聖武天皇が仏教による国家の安定を目指した時期の状況について、正しく述べたものはどれですか。（2017年 福岡県公立入試 類似）

1. 東大寺の建立に反対した勢力を抑えるため、軍事力を強化する政策をとった
2. 奈良の正倉院には、大陸との交流を示す国際色豊かな宝物が納められた
3. 桓武天皇が政治を立て直すために、都を現在の奈良市から京都に移した
4. 遣唐使が廃止されたことで、日本独自の生活様式に合わせた文化が栄えた

問2　奈良時代の平城宮跡などの遺跡からは、当時の政治や人々の生活を物語る史料が数多く出土しています。紙が非常に貴重であった古代において、墨で文字を書き、荷物の付札や行政の記録として用いられた細長い木の札を何と呼びますか。（2018年 富山県公立入試 類似）

1. 木簡
2. 火炎型土器
3. 埴輪
4. 銅鐸

問3　飛鳥・奈良時代に行われた班田収授法の内容として、正しい説明はどれですか。（2026年 栃木県公立入試 類似）

1. 6歳以上の男女を対象に口分田が割り当てられ、本人が死亡した際に国へ返すこととされた。
2. 新たに開墾した土地を永久に私有することを認めることで、農業生産の拡大を図った。
3. 土地の所有権を認め、地価に応じた金額を現金で納めさせることで国家の財源を確保した。
4. 武士に対して先祖伝来の領地の支配を認め、その代わりに軍役を課す仕組みを整えた。

問4　894年に菅原道真の建議によって遣唐使の派遣が停止されましたが、その背景となった理由として、最も適切なものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 日本国内で平将門の乱などの大規模な反乱が起き、派遣の予算が不足したため
2. モンゴル帝国（元）が中国大陸を支配し、日本との間の航路が遮断されたため
3. 唐から日本に対して、国交を断絶し使節の受け入れを拒否する通告があったため
4. 唐の国力が衰退して学ぶべき価値が低下し、かつ往復の航海が極めて危険であったため

問5　754年に、5度の失敗や失明という困難を乗り越えて唐から来日し、唐招提寺を建立して日本の仏教における戒律の制度を整えた人物は誰ですか。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 道鏡
2. 鑑真
3. 空海
4. 行基

問6　大宝律令などの法に基づいて整備された、奈良時代の国家体制について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2018年 奈良県公立入試 類似）

1. 中央の太政官と八省が政治を司り、地方の国々には中央から国司が派遣されて統治を行う仕組み。
2. 地方の有力な武士が守護や地頭に任命され、土地の管理や裁判を行う仕組み。
3. 各地の諸侯が独自に領地を支配し、中央の将軍に対して軍役の義務を負う仕組み。
4. 天皇から土地の支配権を与えられた貴族が、自ら現地に赴いて荘園を直接経営する仕組み

問7　群馬県の伊香保を詠んだ和歌などが収録されている『万葉集』の原文において、すべて漢字のみで構成されているものの、現代のひらがな表記と照らし合わせると漢字一文字が日本語の一つの音に対応するように記述されている。このような表記方法を何と呼ぶか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

1. 漢文訓読
2. 国字
3. 万葉仮名
4. 候文

問8　奈良時代の律令国家において、都に近い地域と遠い地域で「労役（労働による負担）」の日数に差が設けられていた理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 大分県公立入試 類似）

1. 都から遠い地域では、外敵の侵入に備える兵役の負担が非常に重かったため、都での労役はすべて免除されていたから。
2. 都に近い地域は土地が肥沃で食料が豊富だったため、都での労働に従事する人々の食料を自給させやすかったから。
3. 都から遠い地域ほど人口が多く、一人あたりの労働日数を減らしても十分な労働力を確保することができたから。
4. 都に近い地域は移動の負担が少ないため、その分、実際の労働に従事させる日数を増やすことで労働力を確保しようとしたから。

問9　奈良時代、人口の増加にともない、農民に分け与える土地である口分田が不足しました。この状況を改善するため、743年に出された、新しく開墾した土地を永遠に自分のものにすることを認めた法律を何といいますか。（2023年 香川県公立入試 類似）

1. 三世一身の法
2. 班田収授法
3. 墾田永年私財法
4. 太閤検地

問10　律令制度における租税の仕組みについて、当時の農民が負担した「租」と「調」の性質の違いを説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 香川県公立入試 類似）

1. 租は成人男性にのみ課せられる税であったが、調は性別に関係なくすべての農民に課せられた。
2. 租は不作の際にも減免されることはなかったが、調は天候によって納める品目が柔軟に変更された。
3. 租は収穫した稲を地元の国府に納めるものだったが、調は特産品を遠く離れた都まで運ぶ必要があった。
4. 租は平城京などの都で消費される食料となったが、調は地方自治の運営費用として蓄えられた。

問11　日本の仏教史において、奈良時代に行われた「国分寺・国分尼寺の建立」よりも後の時代に起こった出来事として適切なものはどれですか。（2018年 香川県公立入試 類似）

1. 平城京内に大規模な寺院が立ち並び、僧侶が政治に深く関与するようになった
2. 仏教が伝来した直後、崇仏派の蘇我氏と廃仏派の物部氏が激しく対立した
3. 加賀の一向一揆に代表されるように、浄土真宗の門徒が守護大名を倒して自治を行った
4. 聖徳太子が十七条の憲法を制定し、その中で仏教を敬うよう示した

問12　律令制度のもとで実施された税制について、平城京跡から発見された荷札用の木簡の調査からわかる当時の状況として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 静岡県公立入試 類似）

1. 収穫した稲の一部を、その土地の役所に納めることが義務付けられていた。
2. 地方の豪族が、自分の領地の農民に対して独自に課した労働奉仕のことである。
3. 都での労役の代わりに、麻布などの布を納めることが認められていた。
4. 肥後国の木綿など、地方の特産品を荷札とともに都へ届ける負担があった。

問13　飛鳥時代から平安時代にかけて、日本が律令制度や仏教文化などの先進的な文明を取り入れるために、中国の王朝へ派遣した使節を何と呼びますか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）

1. 勘合貿易
2. 遣唐使
3. 遣隋使
4. 通信使

問14　奈良時代、律令制度の基本原則であった「公地公民」の仕組みが崩れるきっかけとなった、新しく開墾した土地の永久的な私有を認める法令は何ですか。（2022年 鳥取県公立入試 類似）

1. 三世一身の法
2. 墾田永年私財法
3. 公事方御定書
4. 班田収授の法